

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

网友

7 2024
月号

vol.696

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU



感謝状

鳥越 一郎 殿

貴殿は入会以来四十一年を超え永きにわたり活動され激動の日本経済を乗り越えてこられました。この間企業を存続発展されたことは貴殿の旺盛なる企業家精神とたゆまぬ自己研鑽のたまものです。今後ますますのご活躍を期待し記念品をそえて感謝の意を表します。

二〇二四年五月十三日
福岡県中小企業家同友会
代表理事 馬谷 幸一
代表理事 藤田 和寿
代表理事 吉丸 晴士

感謝状

小澤 喜芳 殿

貴殿は入会以来四十一年を超え永きにわたり活動され激動の日本経済を乗り越えてこられました。この間企業を存続発展されたことは貴殿の旺盛なる企業家精神とたゆまぬ自己研鑽のたまものです。今後ますますのご活躍を期待し記念品をそえて感謝の意を表します。

二〇二四年五月十三日
福岡県中小企業家同友会
代表理事 馬谷 幸一
代表理事 藤田 和寿
代表理事 吉丸 晴士

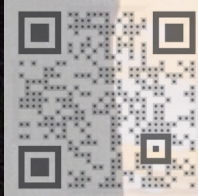
第62回定時総会

基調講演ダイジェスト
2023年度 県方針運動総括
2024年度 運動方針

特集

福岡県中小企業家同友会

広報情報部
Facebook



[デザインQR]

同友会運動で企業と地域は 本当によくなっていますか？

香川同友会の代表理事を務める林哲也氏に基調講演として『共育型インターンシップ』の取組みについてお話をいただきました。

日時：2024年5月13日(月) 16:10~18:00
場所：リーガロイヤルホテル小倉



講師
香川県ケアマナジメントセンター
株式会社代表取締役
林 哲也 氏 (香川同友会)

香川県ケアマナジメントセンターは1995年に創業しました。数々の失敗を繰り返しましたが、同友会の「人間尊重経営」に出会い、経営指針書作成・実践を通して救われました。

シップはミスマッチでした。それに対し「共育型インターンシップ」は、ジョブシャドウイング(能動的観察)を通して、生徒からの問い掛けに一人の人間として真摯に答えること(対等)で学びます。すなわち、学生側だけでなく企業側も、共育するインターンシップです。

毎年香川県下では8000人余が高校を卒業し、進学者は約4800人程度です。そのうち50%超が「香川県内の就職先についての情報が不足」と回答しています。

受け入れ準備シートには次のような設問があります。自社のこと(創業の思いなど)、経営理念、会社の目標、あなた(会社側)の働く目的、仕事を通じて成長を感じたこと、生徒にどんなことを学んでほしいか、終えての感想などなど。

(2020年アンケート調査より)。つまり、せっかく育った子どもたちが、地域の事を知らずに去っていくという事を表しています。中小企業は社会の主役と言いますが、地域で若者を育て、若者が自分らしく生き、希望を持てる企業・地域づくりができないと、将来はありません！

香川同友会が取り組んだ共育型インターンシップは、地域の高校生(1、2年生)を対象としています。企業(経営者・社員)がとにかく話し、対話(質問や討議)をします。基本は、お互いの考え方を知り、学び合います。生徒たちによる成果発表会では、「地域の中小企業を知ることができた。」「社会や学校や家族以外の人から学べました。仕事はお金を稼ぐだけではなくお客様のお役立ちにあるという仕事への意識が変化しました。」などの感想が報告されました。

若者が、育った地域に自分らしく働ける企業があることを知って、希望をもって帰ってくるようにすることが重要です。

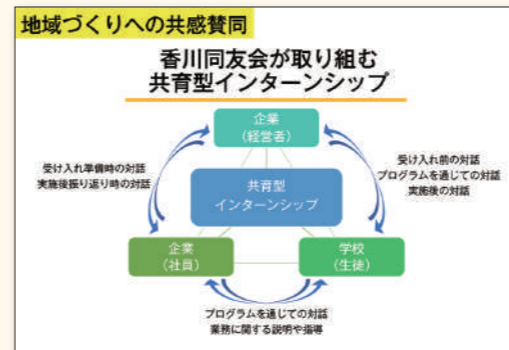
「人間尊重経営」の同友会だからこそ、地域の希望となる小さな一流企業となり、人間らしく幸せにしている聖地を創造しましょう。

そこで香川同友会で「共育型インターンシップ」に取り組むことになりました。

これまでの就労体験型インターン

地域づくりへの共感賛同 (共育型インターンシップ)

若者が、育った地域に自分らしく働ける企業があることを知って、希望を持って帰ってくるように



企業(経営者・社員)も経営理念を再確認でき、働くことへの意識の変化が表れました。そして教員も生徒の成長に驚きを覚えました。この運動が、地域に広がっています。若者が帰ってきて、魅力ある地域を創造していきます。「人間尊重経営」の同友会だからこそ、地域の希望となる小さな一流企業となり、人間らしく幸せにしている聖地を創造しましょう。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう
同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

よい経営者になろう
同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう
同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙

「永年会員表彰(40年)で表彰を受けられた方々」



※鳥越一郎氏(株鳥越建設/久留米支部)、小澤喜芳氏(OZ・企画/玄海支部)

撮影後記

同友会在籍40年おめでとうございます。40年前入会時は1984年(昭和59年)エリマキトカゲのブームの年でした。それから40年、1990年バブル崩壊後の不況、失われた10年、2008年リーマンショック不況、2019年コロナ感染症の世界的流行、コロナ不況と40年間に大きく世の中が変化した激動の40年間でした。その中であって会社を継続発展させ、同友会活動に励まれました。これ迄のご努力とご尽力に心より敬意を表します。鳥越様、小澤様、今後のご活躍を心より応援しております。めざせ、在籍50年!!

撮影・文/株式会社ココスイメージ 富谷 正弘(玄海支部)

変化を捉え、

新たな飛躍へ！

私たち中小企業をとりまく経営環境は、終息しないコロナ禍や物価高騰、そして労働力不足と人材難といった問題があり、厳しい環境にあります。さらには、人口減少と少子高齢化も益々進行しています。

どの地域にも、輝く中小企業があり、雇用と日々の暮らしを担って地域の経済を支えています。経営者と社員が一体となって事業を行うことで地域を維持し、そこに住む人々が働いて子どもを育てていくことで、地域は存続発展してきました。今、多くの地域がこれからも持続していけるかどうか危ぶまれています。中小企業には、地域の問題を自社の課題としてとらえ、地域から必要とされる企業になることが求められています。

「経営者である以上、いかに環境が厳しくとも、時代の変化に対応して、経営を維持し発展させる必要がある」と労使見解の中で経営者の責任を述べています。今、国際情勢の不安定化やデジタル化の流れで、時代の変化のスピードが速くなる中、アフター

コロナを見据えて、いままで以上に自社の事業見直しが必要となります。同友会は、日々挑戦し続ける経営者の集まりです。お互いに切磋琢磨しながら、学びそして実践しながら、強靱な企業づくりをすすめましょう。

昨年度より準備を進めてまいりました福岡同友会創立60周年記念事業は、「創立60周年記念式典」、「第26回女性経営者全国交流会in福岡」、「創立60周年記念事業」創立60周年記念誌」のすべての事業を無事に終えることができました。



定時総会参加者

それぞれの事業において、数多くの役員・会員が役割をもち関わること、周年事業を通じての学びや気づきを得る機会となり、それが引いては福岡同友会の力になったのではないのでしょうか。

なりました。記念事業は時宜を得た内容で、家族を含めて多くの方に楽しみながらSDGsを学んでいただく機会となりました。

同友会活動全体をみると、コロナの5類移行により対面での学びあいの場面が戻り、オンライン時よりも活発に経験交流が行われ、参加者も増えてきています。支部例会のテーマが県の重点方針に即した内容で企画されることが増え、会員企業の企業づくりにつながる学びの機会が増えていきます。

一方で全県行事や委員会活動、地区行事などでは、出欠回答率が低く、参加者も少ないのが現状です。課題としては、2030ビジョンや県方針に基づいた地区・支部方針を策定し、全県の会員さんが一つになって行事を行い、参加者を増やす同友会にするかが求められています。

重点項目

- 1 労使見解に基づいた、経営指針の作成・見直しと実践を
(2030ビジョン企業づくり 1-1 1-2)
- 2 いかなる環境においても、「真の黒字経営」を
(2030ビジョン企業づくり 1-3 1-4)
- 3 地域を支える中小企業が、地域のインフラとなりえる活動を
(2030ビジョン地域づくり 2-1 2-2)
- 4 仲間を増やし、強い組織づくりを
(2030ビジョン同友会づくり 3-3 3-4 3-5 3-6)



開会挨拶をされる高谷代表理事

企業づくり

1. 経営指針書の成文化と実践を

- (1) 経営指針書の成文化と実践を推進します。
- (2) 「労使見解」の継続した学びと、指針書の定期的な見直しを推進します。
- (3) 企業変革支援プログラムの活用を広く全社一丸経営を推進します。
- (4) お互いの違いを認め合い「共に育つ」社風づくりを推進します。

成果

- ◎ あすなる塾と指針作成セミナーの定期開催により、会員の成文化が進みました。
- ◎ 本部にて経営者フォーラムの第4分科会を担当し、人を生かす経営の学習と実践について啓発しました。
- ◎ 委員会単位など、個別の活動の中で企業変革支援プログラムver.2の学習の取り組みが始まりました。
- ◎ 香川同友会の共育型インターンシップとの出会いにより、北九州地区で共育型インターンシップがスタートしました。さらに県南地区でも取り組みが始まろうとしています。

課題

- ◎ あすなる塾と指針作成セミナーへの参加が少ない支部への呼びかけが必要です。
- ◎ 経営指針書の実践を広げていく仕組みづくりが必要です。
- ◎ 企業変革支援プログラムver.2の認知と、eido youの登録がまだ進んでいません。

2. 働き方改革を推進し、働く環境の改善を

- (1) 就業規則や社内規定を整備して、活気に満ちた企業風土の確立を推進します。
- (2) 働き方改革に積極的に取り組み、労働環境の改善を推進します。
- (3) 付加価値の向上等により収益性を改善し、従業員の所得向上を推進します。
- (4) バリアフリーやジェンダーギャップの解消など、幅広い雇用の創出を推進します。
- (5) 事業承継に向けた準備と後継者育成等により、地域企業の永続発展を推進します。

成果

- ◎ 一部の委員会で就業規則や社内規定についての勉強会を実施しました。
- ◎ 特別支援学校との懇談会を開催し、学校側と企業側(会員)との積極的な情報交換を行いました。
- ◎ 事業承継塾の定期開催により、企業継続の為に継承準備や後継者育成がなされています。

課題

- ◎ 働き方改革や労働環境の改善の啓発などを、委員会でも広く進めていくことが大切です。
- ◎ 幅広い雇用にチャレンジする企業を増やし、D&Iを広く周知することが大切です。

3. 広い視野で新たな仕事づくりを

- (1) SDGsやGX(注)を新規事業の機会と捉え、事業領域を見直し新たな可能性を引き出します。
- (2) DX化を進め生産性を向上させると共に、脱炭素・環境保全にも取り組みます。
- (3) 収益力を強化し貸借対照表の良化に努め、今後の金融環境の悪化にも対応します。
- (4) 社会のインフラとしての社会的責任を果たすため、BCPPを策定し有事に備えます。

注1 GX(グリーン・トランスフォーメーション)脱炭素社会の実現に向けた取り組みを通じた経済社会システム全体の変革を指し、2023年度以降の国家戦略に届けられる。

地域づくり

1. 中小企業憲章の精神を広める運動を

- (1) 中小企業憲章・条例推進月間の取り組みを企画し他団体に呼びかけを実施します。
- (2) 行政・金融機関・教育機関などに広く呼びかけ、憲章の精神を広める運動を推進します。
- (3) 中小企業憲章を会内で、また社員と共に学ぶなど憲章の精神を深める運動を行います。

成果

- ◎ 中小企業魅力発信月間勉強会を7月に開催し金融アセスメント法制度から経営者保証に関するガイドライン制定の一連の同友会運動の流れを会員及び金融機関に対して確認することができました。

◎ 本部にて経営者フォーラムの第2分科会を担当し地域を知ることの大切さを学びました。

課題

◎ 中小企業魅力発信月間大勉強会は会員よりも他団体の参加が多く、いかに会員への呼びかけが必要となります。◎ 会員に対して中小企業の魅力や中小企業憲章・中小企業振興基本条例の意義など、まだまだ伝え続けることが必要です。

2. 中小企業振興基本条例の制定と活用で、具体的な成果事例を全県に

(1) 中小企業振興基本条例の制定と活用を推進して元気な地域づくりの運動を進めます。◎ 中小企業振興基本条例が制定されている地域は活用した取り組みを進め、具体的な成果を目指します。(3) 中小企業振興基本条例が制定されていない地域については「調査・条例・振興会議」一体の取り組みなど先進事例に学び、制定に向けて積極的に取り組みます。

成果

◎ 6月の本部会議にて糸島市中小企業振興基本条例の取り組み状況の発表と意見交換会ができました。

課題

◎ 本部内でも中小企業振興基本条例の意義を伝えきれず、県内の制定地である飯塚市・直方市・田川市など、条例取り組みの事例を知ることが必要です。

3. 行政・金融機関・教育機関の関係づくりと連携を

(1) 福岡県および県内主要都市に対し憲章の精神に基づいた政策提言を実施します。

課題

◎ 目標達成に対して、各支部の温度差があります。目標に対して、県として積極的・計画的に動いていません。

◎ 経営者基礎講座の在り方は改めて協議していきます。

◎ 研修本部メンバーを各地区より選出して欲しいとの依頼をしたが、まだ全地区からの参加が得られませんでした。今後の体制づくりの為に、改めて選出依頼をします。

◎ 知る会の開催を全県。全支部に普及できていない。各地区との連動に力を入れていきます。

◎ 戦略的情報活動の試験的取り組みとして、FBでの広告を行っているが、戦略的に将来を見据えた計画を立てることができていません。

◎ ブロック会や支部例会において、各地域に学びの輪をつくる体制の立案計画・実践ができていません。

◎ 同友会推進づくり本部として、各委員会の連携を図り、連動できる本部を確立します。



執行部の方々

(2) 県内の信用金庫・日本政策金融公庫との連携を活かし地域ごとに関係を強化して具体的な取り組み事例をつくりまします。(3) 教育機関との関係づくりを行い、新しいキャリア教育を構築します。

成果

◎ 福岡財務支局・福岡県商工部(2回)、福岡労働局との意見交換会を開催し、これまでの同友会との歩みや歴史を確認することができました。◎ 田川市のキャリア教育が継続して活動できました。

課題

◎ 信用金庫及び日本政策金融公庫との関係強化ができていないので、合同の勉強会などしていく必要があります。◎ 北九州市や飯塚市の取り組みを始め、他の地域のキャリア教育を模索していきます。

4. 会員企業の景況調査分析と会内外への発信の強化

(1) 四半期毎の会員景況調査を実施し分析し会員の実態を結果レポートにまとめ内外に広く広報します。(2) 景況調査の結果レポートの内容を充実させ、分析結果を企業づくりや地域づくりに活かします。(3) 景況調査の回答率を上げて信頼度を高め、会内外への発信力を強化します。

成果

◎ 四半期毎の景況調査報告書を発行し福岡県商工部及び福岡労働局の懇談会にて報告しました。

課題

◎ 毎回の回答率が20%を切り、いかに回答率を上げるかが課題です。

同友会づくり
楽しく学べる増える組織 2023年度
目標2,496名

(1) 新会員フォローアップセミナーを開催し、同友会運動への積極的な参加を促します。(2) 経営者基礎講座を開催し、創業・継承もない経営者・後継者をサポートします。◎ 全県での知る会を開催し、入会促進を進めます。(4) 入会したら学んで実践できる学びの体系をつくりまします。(5) 同友会運動を体現した語り部が、ブロック会や支部例会において、各地域に学びの輪をつくる体制をつくりまします。(6) 企業づくりの実践事例や会活動の情報を外部に定期発信するなど、戦略的広報活動を行い、会外に向けてより重点的な取り組みを行います。



2024年度役員代表挨拶

◎ 次の役員候補育成のための体制づくりがまだ進んでいません。引き続き検討していきます。

3. 活動が継続する組織づくりを

(1) 現新理事研修を開催し、理事としての責任と役割を明確にします。(2) 組織を整備し、各組織が連携し機能的に動く体制づくりをします。(自主・民主・連帯の精神、で会運営が進められ、企業づくり、地域づくり、同友会づくりを一体と捉えた活動を推進します)活動と成果のあらゆる知識と経験をオープンにして、会員が情報を共有できる体制をつくりまします。(4) 各組織の課題が引き継がれ、活動が継続する仕組みをつくりまします。(5) 財政の健全化と事業継続力の強化を推進します。

成果

◎ 新理事研修は内容を更に精査して企画を進め、次年度以降の報告者候補の選定もすでに進めています。◎ 第2・四半期までの予算執行状況は問題なく推移しています。増加傾向にあった会費未収率も第2・四半期において減少に転じています。◎ 現新理事研修を開催しました。理事としての学びと目的を明確にして福岡同友会をビジョンに向けて運営していく責任と役割を共有しました。

課題

◎ 物価高騰の影響を把握し、福岡同友会の運動が推進されるよう来期の予算について協議する必要があります。◎ 災害発生時にどのように情報を収集・発信し、理事会を機能させるかのフローを作成する必要があります。



ご来賓の方々

成果

◎ 目標2,496名に対し、2,356名(2024年3月末)になりました。◎ 新会員フォローアップセミナーの受講者、応援会員共に多く活性化しました。◎ フォローアップ運営の為に各支部が役割分担など協力的になりました。◎ 知る会の会場費補助制度の普及により、多くの支部が知る会を開催しました。

◎ 月刊同友発行により、企業づくりの実践事例や会活動の情報を発信できました。またFBに広告を配信し、HPの新規ユーザー、ページビュー等の数字が確実に上がっています。◎ ハラスメント研修を開催しました。38名の参加者がありハラスメント防止の重要性と多くの気づきがあり、今後の運営に関して多くの学びを共有しました。◎ 経営者基礎講座を開催しました。26名の参加があり経営者としての法令・金融知識、また心構えを学ぶ機会となりました。

◎ 支部・委員会等の活動内容・活動費について精査をし、必要に応じて組織運営規程を改善する必要があります。◎ 組織間の連携の為に情報収集が十分で、体系的な企画に至っていません。



北九州市立高校の生徒によるインタビュー シップ成果発表

4. やりがいや働きがいを感じる事務局づくりを

(1) やりがいや働きがいを感じる事務局づくりをすすめる。キャリアに応じた育成計画を実施します。(2) 会員企業の先進事例に学び、人を生かす経営に基づいて企業づくりを実践し、組織的な事務局づくりを推進します。

成果

◎ 代表理事を中心に事務局との関わりが深まってきました。◎ 事務局の人事賃金制度再構築を行うことが決定しました。

課題

◎ 事務局員の環境整備や働き甲斐など、更に関係性を強める必要があります。

永年会員表彰インタビュー



在籍40年

(株)鳥越建設 代表取締役
とりごえ いちろう
鳥越 一郎 氏
(久留米支部)

親から「とにかく同友会に入れ」と言われて入会しました。人との付き合い方、勉強の仕方、経営のやり方、そしてお酒の飲み方まで教わりました。

「学び方を学ぶ」です。

父が体調を崩し経営に携われなくなった時、業をもつかむ思いで「志賀島セミナー(経営指針作成セミナー)」に参加しました。そこで経営の基礎を学ぶことができました。

とにかく「経営を学びたい、自社の課題を解決したい」と考えている人には最高の会だと思っています。

同友会では支部長など、一通りの役を務めました。役を受けることによっていろいろな経営者の方と本音の話ができると思いました。

例会やブロック会の集まりでも、ちょっと視点を変えて「何か一つ、自社に持ち帰ろう」と決めて参加するようにしたら、楽しくなってきました。

悩みを打ち明けられることができる仲間がたくさんできました。



在籍40年

OZ-企画 代表者
おざわ きよし
小澤 喜芳 氏
(玄海支部)

40年経ったんですね。入ってよかったと思います。もし入っていなかったらどうなっていたでしょう。

青年支部から、今は玄海支部にいます。

私は「社長になりたい」「金儲けがしたい」と思って創業しました。入会当時は「3つの目的」なんて、なんであるんだろうと思っていました。

先輩会員さんから「社長は船の船長なんだから……」と言われても意味が分からなかった。

私は一生懸命、自分が魚を獲ることばかり考えていたんですね。船長(経営者)は、魚のいる所に船を持っていき、船員(社員)が魚を獲りやすい環境を作るのが仕事だと気づきました。

戦略と戦術の違いだったんですね。

志賀島セミナー(経営指針作成セミナー)では経営者の心構えを教えてくださいました。

会員の自主性を重んじ、「知り合い、学びあい、助けあい」の精神を学びました。

信頼できる友達ができてとてもいい会です。

聞き手：広報部 菅原 弘 (東支部)

永年会員表彰

(敬称略・入会年月日順)

会歴40年に達した会員(3名)

鳥越 一郎	(株)鳥越建設	久留米
-------	---------	-----

会歴30年に達した会員(15名)

大塚 正造	(有)リビング オフィス	糸島
安武 敏幸	安武運送(有)	筑紫
堀内 智孝	(有)堀内工務店	筑紫
齋藤 純	(株)インフィニティ	博多
笹隈 尋文	ササクマ電器	大牟田

会歴20年に達した会員(29名)

津賀 政昭	(有)文商	博多
河野 俊毅	アイティオシステム(株)	北九州
山下 照敏	山下照敏税理士事務所	西
白石 洋一	九冷産業(株)	福友和
星野 毅	(一社)共育ネットワーク	筑紫
福島 裕介	room	のおがた
末松 広実	末松社会保険労務管理事務所	のおがた
栗山 浩	(株)アーキテックス	南
寺崎 哲	(有)寺崎設備工事店	玄海
和田 耕一	(株)和田木型製作所	飯塚

坂本 満成	(株)ミドリ印刷	福博
-------	----------	----

明石智津子	(有)アカシ	東
吉田 泰子	エコテクノシステム(有)	ひびき
井上 道夫	井上法律事務所	飯塚
瀬尾 茂数	(株)丸福運送	福博
梅野 栄一	三和硝子(株)	中央

伊藤 一義	(有)双葉屋旗店	北九州
三好 勝一	(株)プランニューウェイブ	福友和
納富 輝子	(有)一柳	福友愛
大津 正和	(株)紙資源	東
横溝 淳弥	福岡金属興業(株)	のおがた
西田 憲一	(株)アッシュロック	筑紫
原田 正浩	(有)マシンサービス社	飯塚
佐々木洋子	福さ屋(株)	東
林 秋彦	(株)未来へのとびら	中央
田中 裕弓	(株)リョーフ	ひびき

小澤 喜芳	OZ-企画	玄海
-------	-------	----

樋口 敏和	電機樹脂(株)	かすや
中川 照将	(株)アフェットプラスワン	北九州
加藤 久	加藤特許事務所	福博
小田 洋子	(有)久留米映像	久留米
久富 正継	久富建設(株)	久留米

杷野 紅旗	(株)新宮	東
守田 優美	社会保険労務士 守田優美事務所	中央
林 堅	株式会社リマックスシステム研究所	博多
畠中 弘	(有)畠中育雛場	飯塚
高橋 聡	熊川食料工業(株)	有明
坂口 大輔	福岡労働法務事務所	博多
井之上幸子	アイライン	福友和
大松 賢次	(株)大東和	玄海
米山 徹	米山土地家屋調査士事務所	北九州

増強表彰

(敬称略)

支部表彰(会員増強最高の支部)

入会数(支部で紹介いただいた新会員数)	福友愛支部	80名
入会率(入会数を期首会員数で割った数)	福友愛支部	33.1%
純増数(支部で期首より増えた会員数)	福友愛支部	46名
純増率(純増数を期首会員数で割った数)	福友愛支部	19.0%

個人表彰 5名(年間5名以上の新会員の入会推薦をした会員の皆様)

氏名	事業所名	所属支部	推薦数
佐藤 高一	九人ホールディングス(株)	福友愛支部	7名
中野麻里絵	マリィエステティック(株)	福友愛支部	7名
須藤 司	農業人	のおがた支部	5名
守部 保宏	福岡トータルワークアウト(株)	福友愛支部	5名
山崎 龍也	(有)ワールド・テン	福友和支部	5名

2024年度 役員名簿

(敬称略)

役職	支部	氏名	事業所名
理事	東	井上 明	富士食品(株)
	東	新任 木下 まき	(株)マーキュリー
	福博	鈴木 哲也	(株)ヒドレレーディング
	福博	高谷 幸一	(株)ユニティ
	博多	宮地 啓一	(株)九秀製本ドットコム
	中央	宮原 三郎	(弁)みらい法律事務所
	西	末竹 哲	(有)日研
	西	新任 姫島 陽介	(株)アスコム
	南	北原 正	社会保険労務士法人 COMMITMENT
	南	貞兼 朋記	(株)ルックルック
	南	中山 英敬	(株)ヒューマンライフ
	南	福田 裕聡	(株)スマリオン
	筑紫	平山 芳光	(株)水城自動車
	福友愛	内田 剛玄	(株)アクセス
	福友愛	新任 廣田 明彦	(株)エフタイムズ
	福友愛	山田 秀樹	日本ビルケア(株)
	福友和	新任 高尾 英正	(株)ライズ
	青年	新任 二又 雄太郎	(株)Function
	玄海	舩元 光二	H.E.S(株)
	かすや	今林 和文	(有)和白電業
かすや	田浦 通	(株)シティーライン	
糸島	新任 白石 雄士	(株)博多印刷	

役職	支部	氏名	事業所名
理事	北九州	中谷 文明	(有)ユニバーサルインシユアランス
	北九州	松木 祥也	(株)松木工務店
	ひびき	市丸 皓士	(有)ファイン
	ひびき	小林 正広	(株)上津役製作所
	ひびき	益吉 勇自	北九州商店(株)
	のおがた	小屋根 雄作	(有)丸憲製作所
	のおがた	森 勇馬	直方駅前法律事務所
	飯塚	重松 和孝	(有)コンサルティングオフィス
	飯塚	鶴田 和寿	コースイ(株)
	飯塚	新任 中村 太治	(株)なかむら
	田川	上原 晃一	(株)ユナイテッドファミ
	久留米	栗原 朋宏	(株)ベストプランニング
	大牟田	溝脇 潤平	(株)コウ・テック
	有明	濱田 満広	(株)濱田設備
	りょうちく	柿元 千徳	パーシモンズ
	りょうちく	橋原 憲一	(株)カラーリングファーム
	事務局	川畑 義行	(一社)福岡県中小企業家同友会
事務局	坂田 いずみ	(一社)福岡県中小企業家同友会	
監事	東	光本 智恵子	(株)すこやか工房
	南	大串 和義	大串公認会計士・税理士事務所
	北九州	新任 坂本 敏弘	計測検査(株)

2024年度 運動方針

変化を捉え、新たな飛躍へ！



交流会に参加のご来賓の方々

私たち中小企業を取り巻く環境は、「中小企業をとりまく情勢の特徴2024」として報告された通り厳しい状況にあります。

どの地域にも多くの中小企業があり、雇用と日々の暮らしを担って地域の経済を支えています。経営者と社員が一体となって事業を行うことで地域を維持し、そこに住む人々が働いて子どもを育てることで地域は存続発展してきました。今、多くの地域がこれからも存続していけるかどうか危ぶまれています。中小企業には地域の問題を自社の課題として捉え、地域から必要とされる会社になることが求められています。

「経営者である以上、いかに環境が厳しくとも時代の変化に対応し

て経営を維持発展させる必要がある」と労使見解で経営者の責任を述べています。国際情勢の不安定化やデジタル化の進行さらには国内の災害など情勢の変化が激しい中、これまで以上に自社の事業見直しが必要となります。同友会は、日々挑戦し続ける経営者の集まりです。私たちは、お互いに切磋琢磨しながら学び実践することで、赤字会社は黒字会社へ、黒字会社は強い会社へ、強い会社はなくてはならない会社へと飛躍を続けなければなりません。

私たちは、2024年度も「2030ビジョン」の達成に向けて以下の方針に基づき、福岡同友会として全県一丸となって運動を進めていきます。

重点方針

- 1 労使見解に基づいた、経営指針の作成・見直しと実践を (2030ビジョン 企業づくり1-1 1-2)
- 2 いかなる環境においても、「真の黒字経営」を (2030ビジョン 企業づくり1-3 1-4)
- 3 地域を支える中小企業が、地域のインフラとなりえる活動を (2030ビジョン 地域づくり2-1 2-2)
- 4 仲間を増やし、強い組織づくりを (2030ビジョン 同友会づくり3-3 3-4 3-5 3-6)

企業づくり

1. 経営指針書の成文化と実践を

- (1) 支部・委員会・地区会で目標をかげ、労使見解に基づく経営指針書の成文化を推進します。全県で成文化率 60%をめざします。
- (2) 経営指針の全社的な実践を推進します。その第一歩は社員を巻き込みPDCAを回すことです。またその実践状況を支部・委員会・地区会で交流し全県で実践率35%をめざします。
- (3) 企業変革支援プログラムの活用を広げ、人を生かす経営の進捗状況を確認し企業変革を推進します。

2. 「真の黒字経営」への実践を

- (1) 赤字会社は黒字会社へ。赤字の原因を捉え営業戦略や損益計画等を見直し、継続して利益を出せる会社に変革します。委員会を積極的に活用し、例会・ブロック会で学びあいます。
- (2) 黒字会社は強い会社へ。社員共育やDX化を進め、全社一丸で収益力を向上させます。人や新商品開発などに投資をしながら黒字を出し続けられる強い会社をめざします。
- (3) 物価高が進み社員達の生活を圧迫しています。自社の実力や計画の達成状況を見極めつつ、ベースアップなど社員の所得向上に取り組めます。

3. 広い視野で新たな仕事づくりを

- (1) 社会課題を自社の課題と位置づけ、事業領域の見直しや新商品の開発を指針書に盛り込み実践します。
- (2) SDGsやGXへの取り組みを推進します。バリアフリーやジェンダーギャップの解消など幅広い雇用の創出を推進します。
- (4) 企業が永続して発展していけるよう、

地域づくり

1. 中小企業憲章の精神を広める運動を

- (1) 中小企業憲章 条例推進月間の取り組みを企画し他団体に呼びかけを実施します。
- (2) 行政・金融機関・教育機関などに広く呼びかけ、憲章の精神を広める運動を推進します。
- (3) 中小企業憲章を会内で、また社員と共に学ぶなど憲章の精神を深める運動を行います。

2. 中小企業振興基本条例の制定と活用で、具体的な成果事例を全県に

- (1) 中小企業振興基本条例の制定と活用を推進して元気な地域づくりの運動を進めます。
- (2) 中小企業振興基本条例が制定されている地域は、活用した取り組みを進め、具体的な成果を目指します。
- (3) 中小企業振興基本条例が制定されていない地域については、「調査・条例・振興会議」一体の取り組みなど先進事例に学び、制定に向けて積極的に取り組みます。

3. 行政・金融機関・教育機関の関係をづくりと連携を

- (1) 福岡県商工部をはじめ他の行政機関との意見交換会を続けて、お互いの問題や課題を共有して会員企業に関わる関係づくりをしていきます。
- (2) 県内の信用金庫・日本政策金融公庫との業務提携を活かして地域ごとに関係を

強化して具体的な取り組み事例をつくります。

- (3) 地域の若者を残すための運動と考えると、教育機関との関係を強化し共育型インターシップなどの取り組みを広げていきます。

4. 会員企業の景況調査分析と会内外への発信の強化

- (1) 四半期毎の会員景況調査を実施・分析し、会員の実態を結果レポートにまとめ会内外に広く広報します。
- (2) 景況調査の結果レポートの内容を充実させ、分析結果を企業づくりや地域づくりに活かします。
- (3) 景況調査の回答率を上げて信頼度を高め会内外への発信力を強化します。

同友会づくり

1. 楽しく学べる増える組織 2024年度目標 2,500名

- (1) 新会員フォローアップセミナーを開催し、同友会運動への積極的な参加を促します。
- (2) 経営者基礎講座を開催し、創業・継承間もない経営者・後継者をサポートします。
- (3) 地区会や支部と連携し、知る会を開催し、入会促進を進めます。
- (4) 支部で課題を発見し、支部から各委員会への参加を増やします。入会したら学んで実践できる学びの体系をつくり出します。
- (5) 支部活動やブロック活動で経営について語り合い、会員がお互いに経営課題を知り合う場をつくり出します。
- (6) 企業づくりの実践事例や会活動の情報を外部に定期発信するなど、戦略的広報活動を行い、会外に向けて、より重点的な取り組みを行います。
- (7) F・d・o・y・uの活用を進め会員同士の情報発信・収集を強化します。

2. 次世代を担う役員づくりを

- (1) 役員研修大学を開催し、次世代を担う役員づくりをすすめます。
- (2) 同友会の歴史と理念を学ぶ重要性が会内で共有され、繰り返し学ぶ環境を整え、語り部を育成します。
- (3) 支部長研修を開催し、その責任と役割を明確にします。
- (4) 各組織において先を見据えた組織構想を立て、次の役員候補(経営指針を成文化し成果が出ている会員)を育成します。

3. 活動が継続する組織づくりを

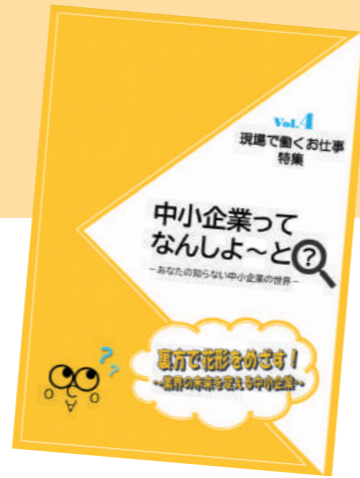
- (1) 現新理事研修を開催し、理事としての責任と役割を明確にします。
- (2) 組織を整備し、各組織が連携し機能的に動く体制づくりをします。(自主・民主・連帯の精神で、会運営が進められ、企業づくり、地域づくり、同友会づくりを一体と捉えた活動を推進します)
- (3) 活動と成果のあらゆる知識と経験をオープンにして、会員が情報を共有できる体制をつくり出します。
- (4) 各組織の課題が引き継がれ、活動が継続する仕組みをつくり出します。
- (5) 運動を推進しビジョンを達成するために必要な予算執行に努めます。
- (6) 災害時に活動が継続できるように事前事後の対応を明確にします。

4. やりがいや働きがいを感じる事務局づくりを

- (1) やりがいや働きがいを感じる事務局づくりをすすめます。キャリアに応じた育成計画を実施します。
- (2) 会員企業の先進事例に学び、人を生かす経営に基づく、組織的な事務局づくりを推進します。

中小企業ってなんしょ〜と? Vol.4 を発刊しました!

『中小企業ってなんしょ〜と?』は中小企業の魅力発信を目的とした事務局作成の小冊子です。今回は「現場で働くお仕事特集」と題し、農業、建設業、製造業、警備業、そして介護業に携わる会員企業を取り上げました。どの会社も慣例や常識に囚われず、業界の未来を明るくするような取り組みをされています。事務局にいらした際は是非お手に取ってご覧ください!



取材にご協力いただいた皆様

- (株)カラーリングファーム 植原 憲一さん(りょうちく支部)
- (株)アイル 樋口 康治さん(筑紫支部)、 樋口 祐也さん(福友愛支部)
- (株)コウ・テック 溝脇 潤平さん(大牟田支部)
- (有)英設備工業 荒川 雅光さん(田川支部)
- (株)九秀製本ドットコム 宮地 啓一さん(博多支部)、 宮地 恭平さん(青年支部)
- (株)上津役製作所 小林 正広さん(ひびき支部)
- (有)丸憲製作所 小屋根雄作さん(のおがた支部)
- (株)東洋硬化 小野賢太郎さん(久留米支部)
- (株)ユニティ 高谷 幸一さん(福博支部)
- (株)アンパサンド 清水 隆師さん(北九州支部)



COLUMN

健康についてQ

健康診断結果の傾向

健康診断結果の傾向

COLUMN

中小企業とはQ

中小企業の魅力Q

福岡で働くQ

農業

野菜栽培の「プロフェッショナル」に!

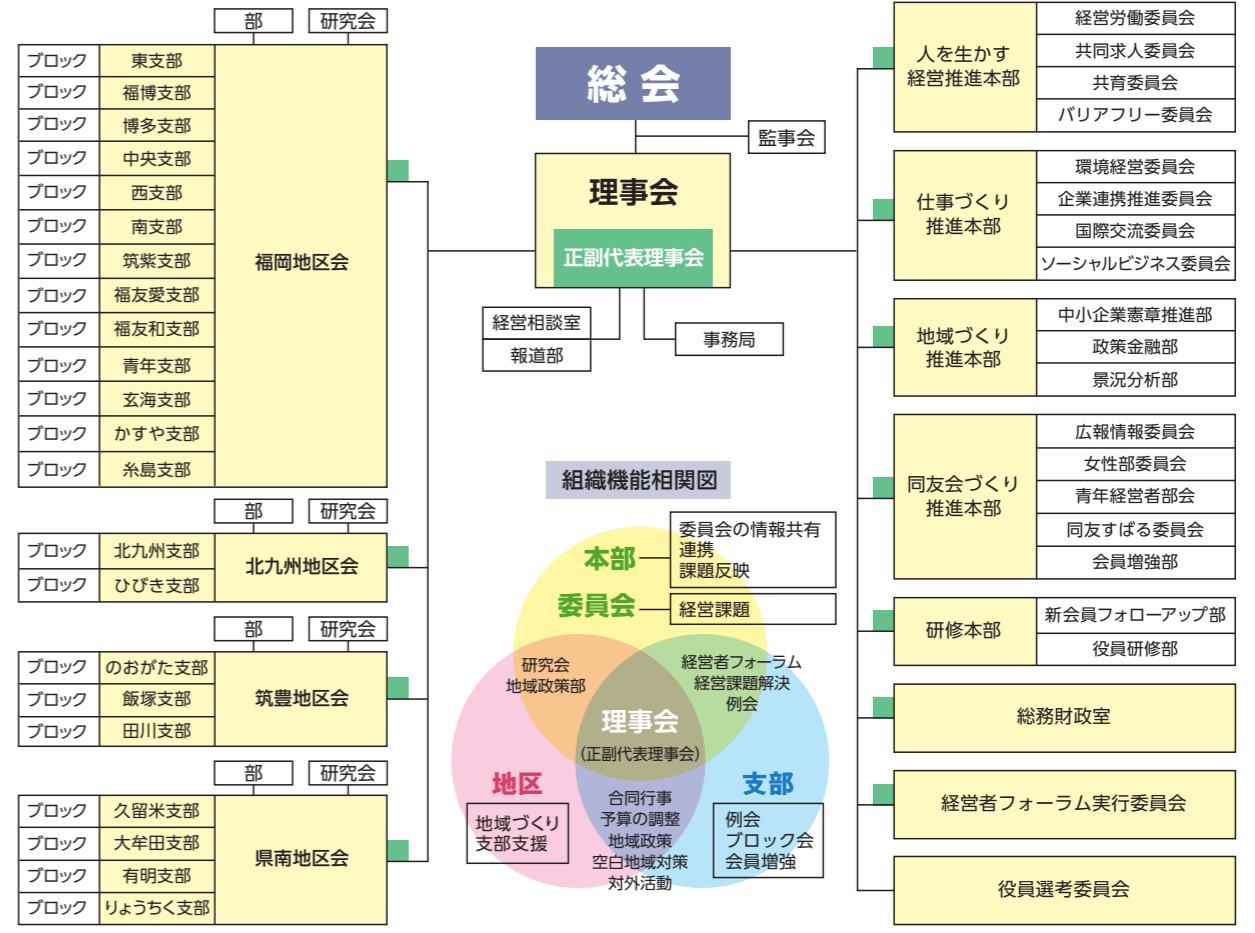
株式会社カラーリングファーム 植原 憲一氏

全国シェア16%の「ラッシュ」を生産

『中小企業ってなんしょ〜と?』は事務局ブログにも掲載しています。



ブログには行事の開催報告や会員企業の紹介記事等も掲載していますので合わせてご覧ください!



2024年度 第1回 理事会だより

開催日時 2024年5月22日(水) 14時30分~17時34分
 会場 振興センタービル301会議室
 出席数 33名(出席率82.5%) 議長 井上 明(理事)

- 会員増強**
 入会18名、退会19名(うち未収による強制退会3名)、が承認された。また9名の移籍が確認された。5月承認会員数2,325名。
- これからの同友会について**
 各支部の課題や、支部長・理事としての役割について意見交換を行った。
- 2024年度県方針企業づくりについて**
 支部会員の経営指針の成文化率と実践率を確認するにあたって成文化率と実践率の定義が承認された。
 ①成文化率は理念、ビジョン、方針、計画の4つが含まれていること。
 ②文字量は問わずA4用紙1枚だけでも可
 ③実践とは指針で掲げた企業像に近づくための成果を伴う具体的な行動をしていること。
- 地域づくり推進本部より**
 7月29日(火)開催の「中小企業魅力発信月間大勉強会」についてe.doyuの全会員発信が承認された。
- 経営者フォーラム実行委員より**
 10月15日(火)開催の経営者フォーラムについて下記3点が提案され、承認された。
 ・全体テーマ:「今こそ、問う!~新時代を生き抜く経営とは~」
 ・第1分科会:人を生かす経営推進本部
 第2分科会:仕事づくり推進本部
 第3分科会:地域づくり推進本部
 第4分科会:同友会づくり推進本部
- 会員企業の動き**
 <経営革新計画承認企業>
 ●2024年3月(県8件/うち同友会会員・企業3件)
 (株)美術しみぬき家紋高瀬 高城 健史氏(福友愛支部)
 <テーマ>着物のお手入れ専門店の着物リメイクで技術継承とインバウンド向け需要を確立
 (有)渡辺刃工 阿比留 恭之氏(のおがた支部)、阿比留 勇介氏(北九州支部)
 <テーマ>非公開
 (有)和光研磨 阿部 晴樹氏(北九州支部)
 <テーマ>非公開
 ※累計で福岡県全体では9,621件、会員企業は延べ562件。
- 表彰など**
 ○春の褒章 黄綬褒章
 トキワ工業(株) 松尾 浩充氏(西支部) 業種:設備工事業
 ○国土交通省
 「地域価値を共創する不動産業アワード」(第2回)
 NPO法人福岡ビルストック研究会
 吉原住宅(有) 吉原 勝己氏(南支部) / (株)カンカングループ 富山 博史氏(大牟田支部) 他

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

16 火 18:30~21:00 博多支部 7月例会

見たい・知りたい・教えてほしい 離職者をゼロにした
"はこでみ式"自走する会社の作り方
■天神ビル11階11号室 福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
■祐恒 竜也氏 株式会社済々社中 代表取締役 (博多支部)

16 火 18:20~20:50 福友和支部 7月例会

企業と社員のミスマッチは、成長のチャンス
~社員の才能を引き出す期待値の再設定~
■アクア博多A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
■高橋 康徳氏 株式会社カウテレビジョン 代表取締役社長 (福友和支部)

16 火 18:30~21:00 北九州支部 7月例会

予期せぬ出来事!あなたの会社は大丈夫ですか?
~危機管理・事業継続計画~
■コムシティ 大会議室
北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
■野中 真琴氏 有限会社さめしめ 代表取締役 (ひびき支部)

16 火 18:30~21:00 のおがた支部 7月例会

異業種交流会 知り合って経済交流しよう!
■ユメシティのおがた 会議室1・2 直方市山部364-4 ☎0949-25-1007
■志柿 明子氏
有限会社アサップ・ASAP動物病院 代表取締役 (のおがた支部)

16 火 18:30~20:20 有明・りょうちく支部 合同7月例会

咸宜塾は経営の翻訳機
~中小企業の財務戦略・成功の秘訣~
■竹下産業株式会社会議室 柳川市本町68-4 ☎0944-73-7111
■小野 新一氏 有限会社カネガエ防災設備 代表取締役
■竹谷 聖氏 占部大観堂製菓株式会社 取締役 (東支部)
■柿元 千徳氏 パーシモンズ 代表者 (りょうちく支部)

17 水 18:00~21:00 東支部 7月例会

ケーキ職人から経営者へ
組織経営による黒字化
■片嶋 清助氏 有限会社ル・サントーレ 代表取締役 (東支部)

17 水 18:30~20:30 西支部 7月例会

同友会西支部を知る会
~自社のこと、そして同友会で学び成長したこと~
■アクア博多A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
■花田 理恵氏 株式会社サワダ 代表取締役社長 (西支部)
■馬場 崇氏 株式会社トップ貿易 代表取締役社長 (西支部)

18 木 18:00~20:30 福博支部 7月例会

情勢分析(仮)
■天神チクモビル 大ホール
福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
■中山 英敬氏 株式会社ヒューマンライフ 代表取締役 (南支部)

18 木 18:00~20:50 中央支部 7月例会

AIを経営に生かす
■天神チクモビル 福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
■(コーディネーター) 足立 知弘氏
いちご会計事務所 所長 (中央支部)
■(パネリスト) 山口 恵子氏
株式会社ファインドカラー・エクス 代表取締役 (中央支部)
■(パネリスト) 峰 祐介氏
株式会社鑑定ソリューション 後継者 (中央支部)

18 木 18:30~21:00 福友愛支部 7月例会

経営者はなぜ学び続けるのか
その原動力について探る
■アクア博多B会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
■佐藤 高一氏 九人ホールディングス株式会社 代表取締役 (福友愛支部)

18 木 18:30~20:10 糸島支部 7月例会

同友会を知る会
■グローカルホテル糸島 糸島市泊844-1 ☎092-322-9600
■大里 達也氏 株式会社ライフプランニング 代表取締役 (糸島支部)
■仲西 勇人氏 株式会社仲電気工事 専務取締役 (糸島支部)

18 木 18:30~21:00 ひびき支部 7月例会

自社の本業・強みを理解していますか?
経営理念を考える
■コムシティ 大会議室
北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
■毛利 真芳氏 株式会社スリーアローズ 代表取締役 (ひびき支部)

18 木 18:30~21:00 田川支部 7月例会

同友会を知る会
■福岡県立大学 大セミナー室
田川市伊田4395 ☎0947-42-2118

18 木 18:30~21:00 筑紫支部 7月例会

■筑紫野市生涯学習センター
筑紫野市二日市南1-9-3 ☎092-918-3535

19 金 18:30~20:30 久留米支部 7月例会

わが社の新規事業
■ハynesホテル久留米 久留米市天神町1-6 ☎0942-32-7211
■西富 健司氏 西邦化学産業株式会社 代表取締役 (久留米支部)

19 金 18:30~20:30 企業連携推進委員会 FAST7月例会

■同友会全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234
■荒巻 健志氏 株式会社Soil 代表取締役 (中央支部)
■高城 健史氏 株式会社美術しみぬき家紋高瀬 代表取締役 (福友愛支部)

23 火 18:30~20:35 かずや支部 7月例会

■同友会会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234
■蓮尾 哲史氏 株式会社シルエット 代表取締役 (かずや支部)

25 木 18:30~21:00 飯塚支部 7月例会

えっ!何でやめるの? あなたの会社は大丈夫?
■バドゥル・コトブキ 飯塚市片島1-7-62 ☎0948-22-5138
■志柿 明子氏
有限会社アサップ・ASAP動物病院 代表取締役 (のおがた支部)

25 木 19:00~21:00 青年支部 7月例会

青年異業種交流会
~福岡県中小企業家同友会・青年支部を知ろう~
■アクア博多A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
■二又 雄太郎氏 株式会社Function 代表取締役 (青年支部)
■河野 康二郎氏 有限会社KKオフィス 代表取締役 (福友和支部)

新会員フォローアップセミナー

25 木 18:00~21:00
■福岡県中小企業振興センター 303会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 3F ☎092-686-1234

26 金 18:30~21:00 環境経営委員会 SDGsカード勉強会

■同友会会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 ☎092-686-1234

29 月 16:00~18:00 共育委員会 社会人例会

■福岡県中小企業振興センター 202会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 2F ☎092-686-1234

2024年度 中小企業魅力発信月間大勉強会

第1部
インタビューシップ体験をとおして、
「働く理由」を考える
29 月 13:00~15:00
■同友会全体会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234
■松坂 暢浩氏
山形大学 学術研究院(学士課程基礎教育院) 教授、
キャリアサポートセンター センター長、理事特別補佐
■真鍋 和博氏 北九州市立大学 教授
■市丸 皓士氏 有限会社ファイン 代表取締役 (ひびき支部)

第2部
インタビューシップとは? (共育型インターンシップ)
中小企業の魅力を地域の若者に発信する取り組み
29 月 15:30~18:30
■福岡県中小企業振興センター 301会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 3F ☎092-686-1234
■松坂 暢浩氏
山形大学 学術研究院(学士課程基礎教育院) 教授、
キャリアサポートセンター センター長、理事特別補佐

30 火 18:00~22:00 南支部・玄海支部 7月合同例会

お二人のベテラン経営者から学ぶ
経営の未来を切り開く力
■アークホテルロイヤル福岡天神
福岡市中央区天神3-13-20 ☎092-724-2222
■塚崎 ひとみ氏 株式会社Bビーイング 代表取締役会長 (玄海支部)
■副島 勲氏 株式会社ヒューマンハーバー 代表取締役社長 (南支部)





新会員 Pick up!

新会員フォローアップセミナー



第195回 (3月開催)



第196回 (4月開催)

月刊同友2024年7月号より、新会員フォローアップセミナーにご参加された方を紙面に掲載します。

新会員の皆様のご参加をお待ちしています。

新会員フォローアップセミナー 部会長 松井 竜介(南支部)



第196回 (4月開催) Zoom

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

みなさんの投稿をお待ちしています。

投稿方法 | 郵送、メールいずれも可。
表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

テーマ | 環境問題や、社会貢献、例会の様子、地域イベントなど、内容は自由です。

送付先 | 郵送/下記「月刊同友」編集部まで
メール / a_arity@fukuoka.doyu.jp (福岡同友会事務局 有馬まで)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

【北九州地区センター】

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

【県南地区センター】

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366



【デザインQR】

今月の『月刊同友』はいかがでしたか?

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます 回答締切 7月31日(水)

環境を守るため森林認証紙を使用しています。